

向島 まち歩き



①多間寺(墨田5-31-13)

区内最古の江戸中期木造建築である茅ぶきの山門が趣をみせる。七福神の毘沙門天を祀る。

②木母寺(堤通2-16-1)

謡曲「隅田川」をはじめとする梅若伝説ゆかりの地。境内の三遊塚は山岡鉄舟筆による。

③隅田川神社(堤通2-17-1)

隅田川総鎮守として水神を祀る。水神の森と親しまれていた。源頼朝伝説がある。

④白鬚神社(東向島3-5-2)

江戸時代には白鬚の森と呼ばれた。七福神の寿老神を祀る。

⑤向島百花園(東向島3-18-3)

文化元年(1804)開園。百花園とは「梅は百花のさきかけ」という意味で、新梅屋敷と呼ばれたりした。七福神の福祿寿を祀る。入園料150円。

⑥幸田露伴旧居跡(東向島1-7-12)

明治26年寺島村へ転居した露伴は、同41年この地に次女文の生まれた蛸牛庵を新築。

⑦長命寺(向島5-4-4)

三代將軍家光が鷹狩りの際腹痛をおこしたが、ここの井戸水を飲み治まったので、長命寺の寺号を与えたという。七福神の弁財天を祀る。

⑧弘福寺(向島5-3-2)

黄檗宗の名利。咳や風邪の病にきく咳の翁婆尊がある。勝海舟も青年時代にこの寺で修行した。

七福神の布袋尊を祀る。

⑨隅田公園

桜の名所であると同時に、火除地を兼ねている。水戸藩下屋敷をイメージした庭園がある。

⑩三囲神社(向島2-5-17)

本殿は幕末の建築と伝えられる。七福神の恵比寿・大国を祀る。雨乞伝説が有名。

⑪すみだ郷土文化資料館(向島2-3-5)

開館日：火～日曜日(但し第4火曜日、12月29日～1月4日を除く) / 開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) / 入館料：100円
すみだの歴史や文化について、さまざまな趣向をこらして紹介。

⑫牛嶋神社(向島1-4-5)

本所の総鎮守社。境内の撫牛は病気快癒の祈願物として信仰されている。

⑬森鷗外旧居跡(向島3-38-2)

明治の文豪である森鷗外が多感な少・青年期の一時をここで過ごした。

⑭飛木稲荷(押上2-39-6)

本殿前の鳥居は寛政9年(1797)の建立。御神木のいちようの木は樹齢およそ500年から600年と考えられており、区内に現存する古木の1つ。

⑮東京スカイツリー

平成23年12月に竣工、24年春開業の予定。完成時の高さは634mで自立式の電波塔としては世

界一を目指す。

⑯三輪里稲荷社(八広3-6-13)

通称こんにやく稲荷。のどの病に効くという出羽湯殿山由来のこんにやくの護符で有名。

⑰下町人情キラキラ橋(京島2～3丁目)

昔ながらの商店街。全長470メートルの路地に約90店舗が並ぶ。

⑱香取神社(文花2-5-8)

応永5年(1398)の古文書にある開拓者の氏神で、文政年間の石灯籠などがある「産業開発・開拓の神」。

⑲立花大正民家園旧小山家住宅(立花6-13-17)

大正6年創建の建物は江戸時代からの農家と町屋の雰囲気伝える。住宅の利用は有料。ただし利用がない場合は無料で住宅を見学できる。(午後0時半～4時半)

⑳吾嬬神社(立花1-1-15)

弟橘媛伝説を由来にもつ。境内に相生の樟の古株が残されている。江戸時代には吾嬬の森と呼ばれた。